

あの日、あの場所で。一瞬のきらめきは永遠に変わる。  
大切な人との思い出をつくるお得なタイアップを実施!!

劇場招待券抽選会

■ Takashimaya

新宿高島屋10階「マピエス」で、母の日ギフト税込5000円以上ご購入の方の中から25組50名様にプレゼント。  
実施期間: 4/22(水)~5/10(日)

■ Recette

人気お取り寄せ、最高級パン専門店。  
「夏時間の庭セット」をご購入の方の中から5組10名様にプレゼント。  
www.recette.co.jp

「夏時間」を体感するイベント!

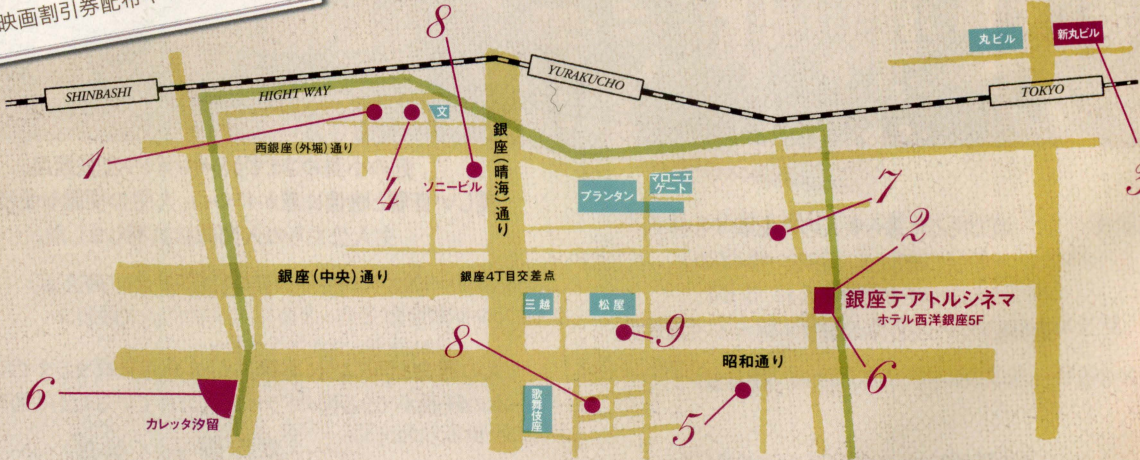
■ IDC 大塚家具

新宿ショールームでは、アール・ヌーヴォー家具で「夏時間の庭」のインテリアを再現!  
実施期間: 5/2(土)~5/10(日) 5/6(水)はトークイベントあり。  
詳細はHPにて www.idc-otsuka.co.jp

■ プレ・オルセー美術館展@銀座テアトルシネマ

9/12(土)から世田谷美術館で開催の「オルセー美術館展 バリのアール・ヌーヴォー」。  
映画に登場するマジョレルの机など出品物をパネルで展示!  
実施期間: 映画上映期間中

映画割引券配布キャンペーン!



映画公開記念メニューをお食事の方に  
下記飲食店で、映画が300円オフとなる割引券を配布します!

1 BREIZH Café CRÊPERIE プレッツカフェクレーパリー

日本初のクレーパリー、神楽坂のル・ブルターニュがプロデュース。  
初夏のガレットとオーガニックシードルのお得なセットが登場!  
銀座店 5/20(水) 銀座6丁目オープン!  
実施店・期間: 銀座店 5/20(水)~5/31(日)  
新宿タカシマヤ店 5/1(金)~5/31(日) www.breizhcafe.jp

3 POINT ET LIGNE

おすすめパンを集めた「夏時間の庭」セットが登場!  
実施期間: 5/1(金)~5/31(日)

2 B1階ケーキショップでは、おすすめホテルスイーツ

全国第1位の銀座マカロンに抹茶・はちみつ味を加えた限定「夏時間の庭」が登場!  
2階レストラン・レベトワにはスペシャルランチコースが登場!  
実施期間: 映画公開期間中 www.seiyo-ginza.co.jp

4 FRENCH OPEN CAFE

フレンチオープンカフェの先駆け!  
オーバカナル銀座でよく冷えた白ワインを。  
実施期間: 5/10(日)~5/24(日) www.auxbacchanales.com

銀座フラワーショップ母の日キャンペーン  
ショップで対象商品を購入すると、お得なペア割引券を進呈!  
実施期間: 4/25(土)~5/10(日) ※対象商品は各店で異なります。詳細は映画公式サイトにて

4. コトリ花店 5/14(木) オーバカナル 銀座で出張販売します。
5. ベル フルール銀座本店
6. 花門フラワーゲート 銀座店、カレッタ汐留店
7. オザミフルール
8. スズキフロリスト本店、ソニービル支店
9. 野の花 司

銀座テアトルシネマ

銀座線京橋駅2番出口・有楽町線銀座一丁目駅7番出口 徒歩2分  
03(3535)6000 / www.cinemabox.com 全席指定・定員入替制  
連日 | 10:00 | 12:15 | 14:30 | 16:45 | 19:00 | 21:10  
レイトショー: 21:10の回は16:55までの上映となります。

5/16(土)  
思い出に包まれる。  
http://natsujikan.net/

特別鑑賞券¥1,500(税込) 絶賛発売中! 当日一般¥1,800(税込)のところ  
※公開前日までの販売になります。  
※ご鑑賞日の5日前より劇場窓口にて指定席券とお引き換えいただけます。

劇場にてお買い求めの方に限り、デクレオール ベルバット クレンジング ミルク、フローラル  
ローションのサンプルセットをプレゼント。(数に限りがあります。) 提供: デクレオール

国際バラとガーデニングショウ

5/13~5/18、西武ドームで  
開催する花の祭典。  
本券提示でショウの当日料金を、ショウの  
半券提示で映画の当日料金を200円OFF。  
※前売り券・その他割引との併用不可。  
http://bara21.jp

POINT ET LIGNE

新丸ビルB1階で  
大人気のベーカリー。  
パン1個プレゼント!

期間: 映画公開期間中  
www.point-et-ligne.com

Belles Fleurs

人気フラワーデザイナー今野亮平の  
プリザーブドフラワー教室銀座校。  
「夏時間」アレンジの受講料が  
特別価格¥3,150(税込)  
期間: 映画公開期間中  
www.belles-fleurs.com

花門 KAHON FLOWER GATE

銀座店 & カレッタ汐留店  
母の日商品を  
10%OFF!  
期間: 映画公開期間中  
www.flowergate.co.jp

来場者プレゼント

各日の初回来場者150名様に!  
5/16(土)「最高級パン専門店  
ルセツ」の【@shokupan】  
提供: (株)イコールコンディション  
5/17(日)【一輪フケ】  
提供: コトリ花店 www.halijon.com

オルセー美術館開館20周年記念作品

3人の子供たちが向き合う母の遺産。  
パリ郊外の家と美術品コレクション。そして秘められた想い。

誰にでも  
思い出が輝く  
場所がある。

MK2 PRODUCTIONS présentent  
Un film de Olivier Assayas



L'heure d'été

Juliette Binoche - Charles Berling - Jérémie Rénier

Avec Edith Scob - Dominique Reymond - Valérie Bonneton - Jean-Baptiste Malarre - Isabelle Sadoyan - Alix de Lencquesaing - Emile Berling - Kyle Eastwood -  
Ecrit et réalisé par Olivier Assayas - Image Eric Gautier A.F.C. - Montage Luc Barnier - Son Nicolas Cantin, Olivier Goinard - Décors François-Renaud Labarthe -  
Costumes Anais Romand, Jürgen Doering - Directrice de production Sylvie Barthet - Producteurs exécutifs Claire Dogny - 1er Assistant réalisateur Matthew Gledhill -  
Scripte Clémentine Schaeffer - Casting Antoinette Boulat - Produit par Marin Karmitz, Nathanael Karmitz, Charles Gillibert En coproduction avec France 3 Cinéma  
Avec la participation du Canal + et TPS Star et Musée d'Orsay Avec le soutien la Région Ile-de-France En association avec Cofinova and Sofinéma 3  
photo © Jeannick Gravelines © 2008 MK2 SA - France 3 Cinéma MK2

http://natsujikan.net/

夏時間の庭

# 幸せな記憶はいつまでも消えることがない。 変化の時代に生きる、現代人の心にじんわり染み入る感動作。

『夏時間の庭』は、時代の変化によって、否応なく離ればなれになる現代家族とその絆を描いた親子三代にわたる物語。  
母の突然の死によって3人の子供たちに遺されたのは、家族の思い出の詰まった家と、母が秘めた想いをこめ愛していた美術品コレクションでした。  
家も遺品も守っていきたくて願う長男に反して、海外に住む長女と次男は自分の生活を優先させ、乗り気ではありません。  
長男はそんなふたりの反応が寂しくてしかたがないのですが、現実には、生前子供たちの事情を見越し、  
すべてを美術館に寄贈するようになっていた母の言葉通りとなるのです。  
「私が死んだらすべて消えていくのよ」と母が語っていたように、めぐる季節にも、人の命にも終わりがあり、時は容赦なく変化をもたらします。  
しかし、その思いとは反対に、孫である少女が意外な方法で残された家族のこれからの、ある希望の光を指し示すことになります。  
そのラストシーンこそ、輝いていた時間と記憶は決して消えることはなく、姿を変えて母から子へ、孫へ、  
そして未来永劫続いて行くことを予感させるのです。



## Comments

コロヤルドンの絵画、アール・ヌーヴォーの家具が、  
美術館からふたたび以前あった生活空間の中にもどる。  
ひかえ目なすがたに、美術がもつ  
本来の魅力が確認できるかのようである。

——青柳正規さん(国立西洋美術館長)

美術館で見る歴史的傑作の多くが、  
かつてはこの映画のように人々の暮らしのなかにあり、  
そこには多くの家族の物語があったことだろう。素晴らしい。

——真室佳武さん(東京都美術館長)

淡色の綺麗な画面の中に、  
美術品の相続問題を主題にして、  
人間関係と美術館の事情を巧みに織り込んだ、  
言ってみれば、上質の美しい絨毯のような映画でした。

——清水真澄さん(三井記念美術館長・成城大学学長)

人間の暮らしの簡素な表現は、小津映画の醍醐味。  
道具立ては本物を使い、すこぶる高級。  
それに通じるアール・ヌーヴォー作品の見事さ!

——酒井忠康さん(世田谷美術館長)

美術品の相続を通したある家庭の崩壊と再生の物語。  
失われていくものと受け継がれていくものが、  
美しい夏の光の中に明滅する秀作。  
オルセー美術館全面協力による場面の数々は必見。

——高橋明也さん(2010年4月開館 三菱一号館美術館長)

ため息が出るほど光の美しい映画である。  
舞台となる印象派発祥の地・パリ郊外の光景も、  
登場する美術品も、ここでは主役の一人だ。  
美術ファンは見逃せない映画である。

——植木浩さん(ポーラ美術館長)

一流の美術品も魅力ですが、  
注目してほしいのは何気ない生活用品と住空間。  
さりげなく生活を豊かにする家族愛。  
日本の原風景と共通する美意識を見るようでした。

——牧山圭男さん(旧白洲邸 武相荘館長)

モノへの想いを通して、人への想いを丁寧に伝えてくれる。  
何とも切なく時間が流れる、愛らしい作品だ。

——宮本亜門さん(演出家)

庭はそこに暮らす人の心を映すもの。  
そして時とともに移ろいゆくもの。  
あるがままを受け入れ、生かし、  
造り過ぎない自然体の庭から何かが見えます。

——杉井明美さん(園芸家)

この映画には、お能を見ていて感じる  
現世にない美しさがありました。  
はっと目を惹く画に、無常を感じました。  
本物にこだわり抜いた証でしょう。

——白洲信哉さん(文筆家)

庭の小鳥のさえずりとエレガントな美術品。  
美しい音響と映像に惹かれつつ、人生の変動を受け入れる  
主人公たちの人間味に共感しました。

——吉谷桂子さん(園芸家)

人の運命と同じように美術品が美術館に収まるまでには、  
一本の映画ができる程のドラマが隠されているのかも知れない。

——真野響子さん(俳優)



監督・脚本:オリヴィエ・アサイヤス  
出演:ジュリエット・ピノシュ、シャルル・ベルラング、ジェレミー・レニエ  
2008年/102分/フランス/配給:クレストインターナショナル CREST

<http://natsujikan.net/>